

しばたまち交流ひろば

夏

増刊号



ゆる.ぷら倶楽部

2015.7.1 ニュースレター第60号

夏だ！チャレンジ体験 inゆる.ぷら

☆ゆる.ぷらで暑い夏に熱い体験をしよう！

7/14と7/28
仙台大学
健康カフェ

7/18
和太鼓体験

7/23と7/30
つるしかざり
体験会

7/30
子ども夏休み
点字体験

7/29
マジックショー &
マジック体験会

7/31
クラフトバッグ
体験会

8/1
革クラフト
体験会

⇒体験会のチラシをみてね！

【ゆる.ぷらギャラリー展示情報】

6月30日～7月12日「佐藤より子パッチワーク展」

7月14日～7月26日「保科水彩画教室展」

7月28日～8月2日「しばた100選ぬりえ展」

口笛コンサートのご紹介



毎月第二日曜日午後1時30分～ゆる. ぷらサロンスペースで、口笛奏者の夢尾見太郎さんの口笛コンサートが開催されています。

5月の口笛コンサートには、6歳の女の子が来てくれたので、ジブリの映画音楽など、リクエストに応じて演奏してくださいました。

女の子は6月のコンサートにもきてくれて、コンサート終了後に夢尾見太郎さんが女の子に簡単な口笛のレッスンを行いました。

《ギャラリー展示の様子》

◎蒔田来氏油彩画展 (6月2日～6月15日)



ボードいっぱい大きな絵で、おいしそうなぶどうパンが、描かれていましたよ

ゆる. ぷらを飾る阿部喜一郎さん自慢の『さつき』



◎鈴木久雄氏写真展 (6月16日～6月28日)

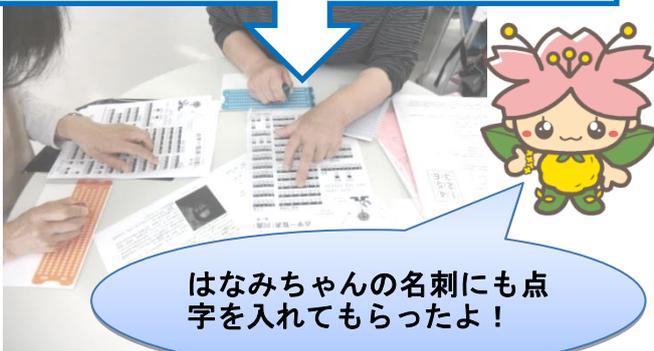
原発事故により、南相馬から柴田町に避難して4年経ち、やっとこれまで撮影した故郷の風景を展示したい気持ちになりました。観て頂いた皆様ありがとうございました。



野馬追いのこの瞬間を撮るのに、私は真っ白に砂をかぶりました。



◎点訳サークル『ほたる』点字体験会の様子 (5月21日)



はなみちゃんの名刺にも点字を入れてもらったよ!

エフエムいわぬまの佐藤登喜雄の「アンタいい顔してるね」の突撃取材(6/21)を受けました。(日曜10時～放送)



まちづくり推進センター情報

【地域づくり支援員レポート】

まちづくり推進センター（ゆる. ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

町内では、行政区の枠を越えた地域づくりを推進する学区コミュニティが様々な事業に取り組んでいます。今回は、柴田小学校区「第9回柴小地区合同大運動会」と船迫小学校区「“歩け歩け運動” 2015」を取材しました。その様子をお伝えします。

～運動会で世代間交流・地域交流～「第9回 柴小地区合同大運動会」

世代間交流と地域交流を推進している柴田小学校と7行政区で構成される柴小地区地域づくり推進協議会が主催する「第9回 柴小地区合同大運動会」が5月16日（土）、柴田小学校で開催されました。運動会のプログラムは、児童の紅白対抗と地区対抗が行なわれました。

早朝からの降雨が一時はげしくなり開催が危ぶまれる中でしたが、開始時には雨も上がり太陽も顔を出す絶好の運動会日和となりました。

1年生7名による運動会のスローガン「燃えろ赤組 気合いだ白組 力のかぎりがんばろう」の唱和や全校児童による応援合戦、児童・地区代表の宣誓で会場は一気に盛り上がり競技が始まりました。

地区対抗は、2人1組でボールを落とさないよう心をひとつにする「カニのアベック」、地区を挙げて応援し世代間で協力する「綱引き」などで得点を競い合いました。

白熱する競技の合間には、全校生徒54名がこの日のために一生懸命練習した「大黒舞」が披露され、大きな拍手が送られていました。

テント内で応援するご夫婦は「孫の応援に来ました。この様な運動会は親睦が図られとても良い事ですね。」と笑顔で話して下さいました。協議会の村上忠庸会長（第24区行政区長）は「運動会は、少子高齢化が進む世の中にあって地域と小学校の連帯感を強め、“おらほの小学校”という思いを強くさせてくれます。更に、地域の皆さんが顔を合わせるにより絆が深まり、地域交流の促進に大きく寄与しています。」と話をされていました。



-地域の応援を受けての綱引き-

～千桜橋へ自分の脚で歩いてみよう！～

船迫小学校地区 「歩け歩け運動」 2015

地域連携で住民の健康と交流を深める「“歩け歩け運動” 2015」が6月7日（日）、6行政区で構成されている船迫小地区ふるさと運動推進協議会主催で開催されました。

今年は「千桜橋へ自分の脚で歩いてみよう！」と呼び掛け、子どもからお年寄りまで総勢52名が参加しました。天候に恵まれ絶好のウォーキング日和の中、佐藤希夫会長

(第29B区行政區長)から「今日は楽しく歩き、これからも健康のために歩くことに努めて下さい。」との挨拶の後、滝澤虎雄さん(第29C区行政區長)から「歩け!歩け!行くゾー!」の大きな掛け声で元気よく出発しました。

コースは、船迫生涯学習センターからしばた千桜橋を通り観光物産交流館「さくらの里」まで、途中で和気あいあいと歩く皆さんの足取りが速くなり、ペースダウンを促す声が聞かれる場面もありました。ゴールは開館4周年記念感謝祭で賑わう「さくらの里」前、流れ出る汗を拭く皆さんからは約1時間をかけての完歩に満足感が漂っていました。



-白石川右岸堤防を歩く方々-

家族4人で参加された方は、お子さんを乗せた乳母車を押しながら「歩き易いコースだったので清々しく気持ちよく歩くことができました。千桜橋が完成して城址公園周辺を散歩する人が多くなりました。イベントを増やし、より多くの人たちがこの橋を訪れてくれると嬉しいです。これからも体力づくりに努め、また参加します。」と話されていました。

地域課題が多様化、複雑化し、単区だけでは解決できない問題が増えている今日、行政区の枠を越え、互いに支え合い、協力し合う小学校区コミュニティの活動をご期待いたします。

柴田町地域づくり支援員 本郷 良治 大内 進

【しばた100選情報!】

皆さまからご応募いただいた564の地域資源の中から、100を選ぶ選考委員会の第1回が6月16日(火)に開催されました。活動は9月末までを予定しています。「しばた100選」選定のカウントダウンが始まりました。楽しみにお待ちください!

ゆる.ぷらのギャラリースペースで7月28日(火)から8月2日(日)を「しばた100選ウィーク」とし、「しばた100選」のぬりえに応募していただいた作品を展示します。また、8月2日(日)には「しばた100選」を応募していただいた方に、はなみちゃんグッズが当たる抽選会を開催します。

期間中はぬりえのほか、応募された「しばた100選」候補やこれまでの経過と完成までの予定なども展示します。ゆる.ぷらに見に来てください!



伝えたい・残したい・自慢したい、しばたの宝もの

もうすぐ夏も本番です!屋外で蚊やブユに刺されないためには、できるだけ肌を露出しないことが大切です。また、スズメバチは黒いものに寄ってくる習性があります。黒い服は避けて、黒色以外の帽子をかぶりましょう。ハチを刺激する香水やキラキラ光るものはつけないこと、ハチの巣に近づかないことが大切ですよ~。

ゆる.ぷらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<8月の休館日:3日、10日、17日、24日、31日 >

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172